



# 進路・地域支援だより

令和3年7月20日  
岡崎聾学校進路・地域支援部  
令和3年度第4号

## 高等部・現場実習

高等部3年生が2週間の現場実習を自動車関係の企業で行いました。



### 《仕事内容》

指示されたコンテナに入っている製品（約10kg前後の重さ）を台車に載せて指定の場所まで運ぶ仕事です。台車には1台につき10~12箱積みみました。集中力と、体力が必要な仕事です。



実習をした生徒

実習中は笑顔で挨拶をし、わからないことはすぐに聞きました。また、将来自分が買いたい車の話をするなど、職場の方に自分から話をするように意識しました。帰宅した後は翌日に疲れが残らないように早めに寝たり、ストレッチをしたりしました。

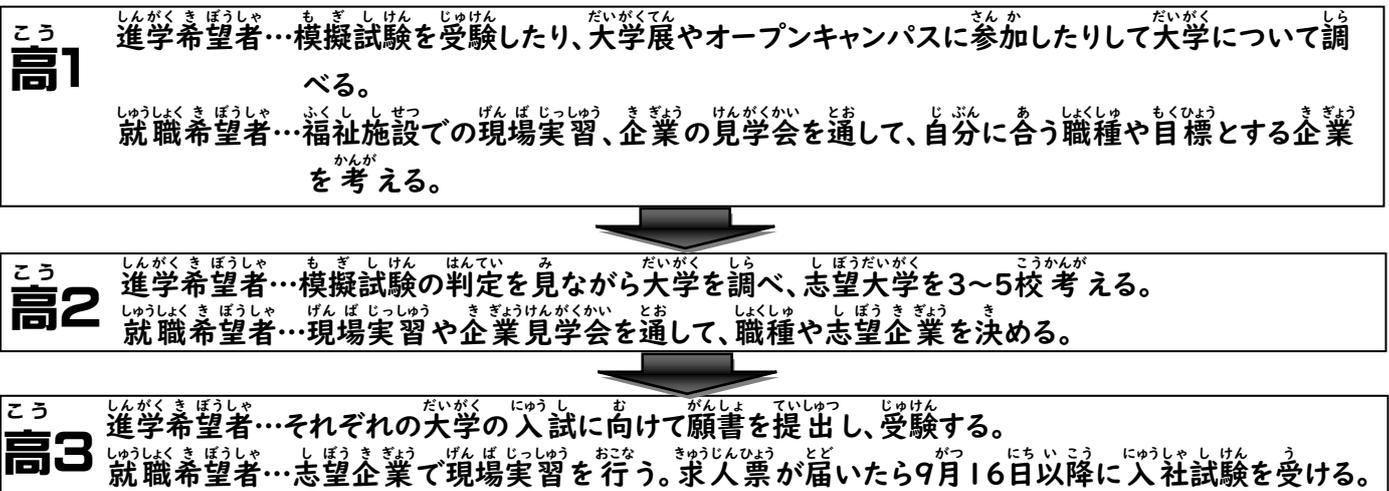
一緒に仕事をする上で1番困るのは、急な遅刻や休みを取られることです。理由は、その仕事を周りの人が手分けしてやらなければいけないからです。企業に就職して、本格的に仕事をするとな残業や夜勤もあります。日頃から規則正しい生活を送るなど、毎日仕事ができる体力と意識をもつことが大切です。



職場の方

現場実習の最終日には、職場の方から2枚にわたる温かいメッセージと実習の様子をまとめた写真をいただきました。進路コーナーに掲示しますので、ぜひご覧ください。

### 高等部：進路決定までの流れ



高等部では自分の進路を決定し、進学・就職するまでにさまざまな学習や実習を行っています。「進路決定は高等部に入ってから」ではなく、入学前からどちらに進むかを意識しながら生活することが大切です。

つくばぎじゅつだいがく こうだいわんけいじゅぎょう  
**筑波技術大学との高大連携授業** 6月18日(金)

～自分のことを伝えるときの「伝え方を考えよう」～

今回の授業では、聴覚障害者と関わりがない健聴者に自分の聞こえの説明と配慮を依頼するときの内容を考えました。

高等部では、1年生の自立活動や進路探究の授業で自分の聞こえの説明や配慮の内容を考えてきました。代表生徒が自分のことを説明すると、筑波技術大学の中島先生からさまざまな投げかけをされました。



《中島先生からの投げかけ》

「ゆっくりとは、どれくらい？」

「筆談と言うけれど、紙はどうするの？スマホを使うの？」

「2～3人のときはどうしてもらうの？」

「マスクを外して話すのは、今の状況では難しいから、どうしたらいいの？」

あなただったら、何と答えますか？



志磨村さん

(自身も聴覚障害者)

できないことだけではなく、こうすればできるという言い方で話すといいでしょう。私は状況に合わせて作った自分のトリセツ(自分を紹介する文を書いたもの)を利用しています。また、その際自分の得意なことを伝えるといいです。

生徒たちは今回の授業で教えていただいた助言を基に、もう一度自分の聞こえ方を見つめ直し、説明や配慮の依頼を考えています。そして、今後、オープンキャンパスに参加したときや現場実習などでしっかりと説明し、上手にコミュニケーションを取れるようにしたいと考えています。

ちいきしえん げんば  
**地域支援の現場より**

令和3年度交流プラザ(8月4日(水)午後 予定)では、名刺づくりをします。みなさんも作ってみませんか。枠の中の( )に自分のことを書き込んで、名刺を完成させましょう。

(学校名 ) 部 年 組(名前 )

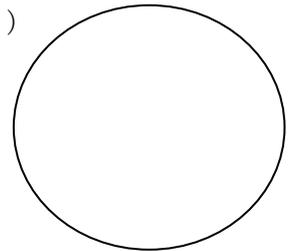
(誕生日 平成 年 月 日 星座 血液型 )

(好きな食べ物 嫌いな食べ物 )

(大切なもの・こと 好きなもの・こと・趣味 )

(部活動 係・委員会 憧れの人 )

(聞こえについてお願いしたいこと。(2～3つぐらい) 似顔絵を描こう→



どうぞよろしくお願いいいたします。

いよいよ夏休みです！夏休み中も「働くこと」を意識して、家庭の手伝いをしたり、規則正しい生活を心がけたりしましょう。